

まちを守る消防団

【お問い合わせ】消防本部総務課 ☎867-0119



サラリーマン、公務員、主婦、学生…
普段はそれぞれの顔を持ち、
いざ災害時には消防団に大変身!!
消防職員と力を合わせ、訓練の成果を発揮し、
私たちのまちを守っています。

私のまちの消防団

消防団は、法律で定められた消防組織の一つで、火災時の消火活動はもちろんのこと、風水害や地震などの災害時にも出動し、消防職員と協力して警戒・救助などの活動を行っています。また、イベントでは来場者の安全を守る警備活動を、ボヤが続いた時などには周辺住民を訪問し安全点検の呼びかけを行うなど、地域に密着したきめ細かい予防活動・啓蒙活動に取り組んでいます。

協働大使に任命

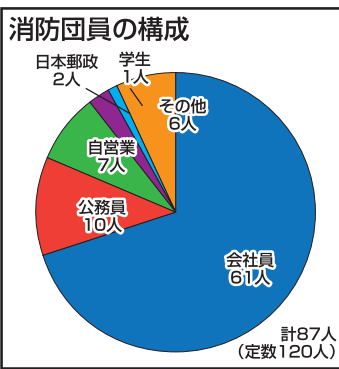
まちづくりに貢献する消防団が、今年8月11日、市の協働大使に任命されました。消防団の饒平名康臣団長は「これまでの活動に加え、今後は住宅街を練り歩いて『火の用心』の呼びかけを行うなど、さらに地域に密着した活動を広げていきたい。消防団としてできることは何かを考えながら、那覇をいまいちにしていきたい」とこれからの抱負を述べました。

あなたの力をまちに

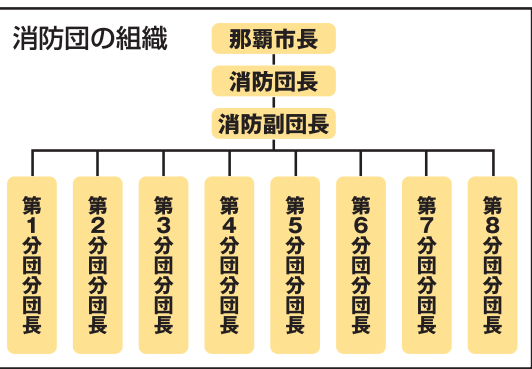
消防団は、市内在住の18歳〜50歳の健康な方で、訓練に参加できる方なら誰でも入団できます。体力をもてあましているあなた、運動は苦手だけどまちを守る活動がしたいあなた、幼いころから消防隊にあこがれていたあなた…消防団の仲間に入って、一緒に活動をしませんか？
あなたの思いで守れるまちがあります。あなたの思いで救える命があります。あなたの思いで深まる絆があります。



左から饒平名康臣団長、嘉数勝副団長、比嘉功副団長



平成24年4月1日現在



女性防火クラブ

消防団のほかに、市内では女性達で作るボランティア団体「女性防火クラブ」も活躍しています。家庭・地域の防火、防災の担い手として、救命訓練や消火訓練を行ったり、住宅用家庭警報器の設置促進、総合防災訓練での炊き出しなどを行っています。現在17支部、約500人の方々が登録し、活動しています。



こんな活動をしています

無線機に入る災害情報に注意し、仕事の合間や仕事後に災害が発生したら出来る限り出動しています。8月の台風15号の時は、泊まり込みで消防本部に待機し、看板などの飛来物や倒木の撤去などを行いました。火災現場に初めて出動した時は、消防職員の後方から放水し支援を行いました。圧倒されるほど燃え盛る火を前に、人が変わったように勇ましくテキパキと消火、救助活動を行う消防隊に感動したのを覚えています。そんな消防職員と消防団は車の両輪のようなものであると意識しながら、市民の生命、財産を守るために真剣に取り組んでいます。



第4分団分団長 喜屋武晃彦さん(55歳) / 自動車修理工場勤務

主にイベントでの警備活動を行っています。訓練では、最初は難しかった放水も体を振られずにできるようになりました。実は、訓練は楽しく続けられるいい運動でもあるんです(笑)。それに、弁当の包み方がきれいみんなに褒められるようになったのは、実はロープ結びの訓練のおかげです(笑)♪
人のために活動しながら、自分のためにもなっています。これからも元気に訓練を続け、まちのために頑張ります。



第3分団副団長 山城奈美(33歳) / 保険業勤務

10年前に、友人に誘われて入団しました。入団してみると楽しく、現場で活動したり、訓練の成果を披露する県総合大会を目標にするなどして、夢中になってやってきました。今では階級も上がり分団長に任命され、使命感を持ってやっています。これまでの活動では、以前水難事故が起こった時に、明け方まで消防隊と協力して捜索活動を行ったことが印象に残っています。この活動を始めて、災害に対する意識が高まり、市民を守るという意識が一層強くなりました。今後も訓練を重ね、後方支援だけでなく、消防隊が到着する前の初期消火で一人でも多くの命や財産を守れるようになりたいです。



第7分団分団長 渡久地政実(35歳) / 建設業勤務